

2018年度（2018年4月1日～2019年3月31日）事業報告

定款第11条に基づき、当年度の事業の内容につきまして下記のとおりご報告いたします。

なお、本議案は、合併に伴い法律上の存続法人となりました（旧）公益財団法人とうきゅう環境財団に関するものであります。

1. 公益目的事業の状況

（公1）研究助成事業の状況

① 助成金の贈呈

当年度は24件の研究に対し、調査・試験研究費として総額25,660千円の助成を実施いたしました。

詳細は下記のとおりであります。

1 新規 学術研究					
No.	研究課題	代表研究者	所属・役職 (採択当時)	研究期間	当年度 助成金額 (円)
1	多摩川における感染力を有した腸管系ウイルスの動態解明	端 昭彦	東京大学大学院工学系研究科 都市工学専攻 特任助教	2年	1,010,000
2	多摩川河口域における水生菌類の多様性と有機物分解機能の評価	鏡味麻衣子	東邦大学理学部生命圏環境科学科 准教授	2年	1,380,000
3	多摩川水系におけるニホンウナギの保全のための資源生態調査	黒木 真理	東京大学大学院農学生命科学研究科 助教	2年	1,000,000
4	多摩川水系における天然及び人工放射性物質の環境総合評価	岡田 往子	東京都市大学工学部 原子力研究所 准教授	2年	1,500,000
5	多摩川の微生物生態系モデル構築による下水処理水の影響や季節変動の解析	山村 雅幸	東京工業大学情報理工学院教授	2年	1,464,200

No.	研 究 課 題	代 表 研究者	所 属・役 職 (採 択 当 時)	研 究 期 間	当 年 度 助 成 金 額 (円)
6	多摩川源流域における「耕作跡地の二次草原」の生物多様性とその時空間動態	今井 伸夫	東京農業大学 地域環境科学部 森林総合科学科 森林生態学研究室 准教授	2年	1,534,860
7	多摩川流域のアブラナ科アブラナ属の地域在来野菜における遺伝的由来と品種および栽培特性に関わる研究	元木 悟	明治大学農学部 准教授	2年	1,446,000
8	多摩川流域の観光発展と環境教育の役割について -人々の観光に関わる行動分析と観光政策	高尾 美鈴	中央大学大学院 経済学研究科	2年	1,087,000
合 計 (8件) / 応募 23件 (採択率35%)					10,422,060
2 新規 一般研究					
No.	研 究 課 題	代 表 研究者	所 属・役 職 (採 択 当 時)	研 究 期 間	当 年 度 助 成 金 額 (円)
1	小平市内における玉川上水系分水路網の基礎的環境調査 (玉川上水中流域の小川分水と分水路網の残存状況調査)	鈴木 利博	学び舎江戸東京 ユネスコクラブ 水と緑・環境委員長	1年	800,000
2	多摩川における日本在来河原植物の分布調査	柴田 隆行	多摩川の自然を守る会 代表	2年	526,000
3	用水を地域資源として活用するための水利用の歴史 -砂川用水を例にして-	小坂 克信	立川市史編さん 委員	1年	472,700
4	多摩川産軟体動物化石を利用した環境教育実験と市民参加型・調べ学習による「第四紀学」の古環境復元の研究	福嶋 徹	Geo Wonder 企画 むさしの化石塾 代表	1年	600,000

No.	研 究 課 題	代 表 研究者	所 属・役 職 (採 択 当 時)	研 究 期 間	当 年 度 助 成 金 額 (円)
5	玉川上水・分水網の保全再生とフィールド・ミュージアム展開に関する調査	辻野五郎丸	玉川上水域研究会 代表	1年	750,000
6	御岳山山城 蘚苔類フロラ調査 -御岳山の苔の魅力を発掘し、大切な資源として後世に遺すために-	井口 三月	御岳山苔の会 代表	2年	354,680
7	21世紀初頭における多摩川および浅川水系流域の残存灌漑水田の立地環境の人文的実態把握調査と水田・用水保全活用に向けての将来的課題の研究	北村 敏	グループ・みずと暮らすひの	1年	386,660
合 計 (7件) / 応募18件 (採択率39%)					3,890,040
新 規 研 究 合 計 (15件) / 応募41件 (採択率37%)					14,312,100

3 継続 学術研究

No.	研 究 課 題	代 表 研究者	所 属・役 職 (採 択 当 時)	研 究 期 間	当 年 度 助 成 金 額 (円)
1	多摩川水域における希土類元素の存在分布とその起源に関する研究-主としてMRI造影剤用のガドリニウム濃度との関連性について-	井上 一雅	首都大学東京大学院人間健康科学研究科放射線科学域 准教授	2年	1,994,063
2	都市型河川における魚類の遺伝的多様性	吉永 龍起	北里大学海洋生命科学部 准教授	2年	999,265
3	多摩川集水域50地点定期モニタリングによる放射性セシウム蓄積スポット調査	小池 裕也	明治大学理工学部応用化学科 専任講師	2年	2,000,000
4	多摩川の河川水、及び河川底の環境DNA解析による微生物叢解析 -微生物を指標とした河川管理ガイドラインの提案の試み-	齊藤 玉緒	上智大学理工学部物質生命理工学科 教授	2年	923,000
5	多摩川の潜在的な希土類元素汚染と水生生物に対する生体影響の解析	関本 征史	麻布大学 生命・環境科学部 環境衛生学研究室 准教授	2年	1,840,000

No.	研 究 課 題	代表 研究者	所属・役職 (採択当時)	研究 期間	当年度 助成金額 (円)
6	多摩川流域所在アーカイブズの情報集約・公開に関する調査・研究 ― 地域持続のために―	宮間 純一	中央大学文学部 人文社会学科 准教授	2年	1,881,737
7	多摩川上流部の里山林における菌類多様性評価 ― 里山林は樹木共生性きのこの種多様性の受け皿となりうるか―	田中 恵	東京農業大学地 域環境科学部森 林総合科学科 准教授	2年	800,000
合 計 (7件) / 全件採択					10,438,065
4 継続 一般研究					
No.	研 究 課 題	代表 研究者	所属・役職 (採択当時)	研究 期間	当年度 助成金額 (円)
1	I Cレコーダーを利用した多摩川上流部及び東京都山間部における絶滅危惧鳥類と希少鳥類の生息調査	鈴木 浩克	井の頭自然の会 代表	2年	409,850
2	多摩川流域の地下水の文化、価値を継承する次世代教育のためにコミュニケーションを重視した「水を守る」「水を活かす」リーダーとなる人材育成	大嶽 貴恵	環境まちづくり N P Oエコメッ セ 理事長	2年	500,000
合 計 (2件) / 全件採択					909,850
継 続 研 究 合 計 (10件) / 全件採択					11,347,915
総 合 計 (24件) / 50件 (採択率48%)					25,660,015

②研究成果の公表等

- ア) 2017年度までに完成した研究成果に関する報告書を製本いたしました。
- イ) 研究成果の要約内容(英訳を含む)の、当財団公式ウェブサイトでの公開を順次進めるとともに、同サイトから報告書全文のダウンロードを可能といたしました。
- なお、上記イ)について、当年度に新たに公開したものは下記のとおりであります。

学術研究 (9件)

No.	研 究 課 題	代表 研究者	所 属・ 役 職
324	多摩川流域の水生昆虫類の遺伝的構造	倉西 良一	千葉県立中央博物館
326	多摩川集水域における底質中の放射性セシウムの30年後を見据えた挙動解析	小池 裕也	明治大学理工学部 専任講師
327	多摩川上流域に生息するニホンジカの遺伝構造・遺伝的多様性の評価	溝口 康	明治大学 准教授
328	近代多摩川と皇室	吉岡 拓	恵泉女学園大学 人文学部 特任助教

No.	研究課題	代表研究者	所属・役職
329	多摩川下流低地における地下水環境と地盤沈下・隆起の変遷	愛知 正温	東京大学大学院新領域創成科学研究科
330	多摩川中流部における樹林伐根跡地の植生変化と立地との関係	和田 美貴代	熊本大学薬学部 准教授
332	多摩川上流域における落葉分解性水生不完全菌類の多様性とその落葉破碎食水生昆虫に対する意義の解明	佐藤 大樹	国立研究開発法人森林研究・整備機構森林総合研究所 森林昆虫研究領域長
333	多摩川河口域に飛来する野鳥の保護にむけた寄生虫感染状況の調査	彦坂 健児	千葉大学大学院医学研究院感染生体防御学領域 特任講師
334	多摩川中流域に残存する谷戸地形（都立農業高等学校附属神代農場）の生物多様性に関する研究と谷戸地を利用した環境教育	小作 明則	一般財団法人進化生物学研究所
335	多摩川の河口干潟における珪藻の種多様性と群集ダイナミクスの解明	真山 茂樹	東京学芸大学教育学部 教授

一般研究（12件）

No.	研究課題	代表研究者	所属・役職
227	埼玉県での多摩川の水利用—野火止用水—	小坂 克信	産業考古学会理事、水車と臼分科会代表
230	多摩川流域山地の伐採跡地を利用する鳥類（ヨタカ、サシバ）に関する研究	山口 孝	多摩クマタカ生態調査チーム代表
231	浅川における野鳥の長期間継続調査結果から見た動向及び環境変化との関連を考察する調査研究	粕谷 和夫	八王子・日野カワセミ会 会長
232	品川用水における水利施設遺構の残存状況調査	渡部 一二	水縁空間デザイン研究所 代表
233	「野川湧水回廊」の価値づけと地下水保全のための調査研究	神谷 博	みずとみどり研究会
234	玉川上水・分水網の構成と関連遺構に関する調査（2）	辻野 五郎丸	玉川上水域研究会 代表
235	多摩川中流域におけるカヤネズミ生息情報マップの作成と保全の提言	井上 太志	自然観察活動チーム Wild Lives Watchers 代表
236	生き物の生息に配慮して改修した農業水路の市民参加型モニタリング調査	西田 一也	東京農工大学農学府・農学部 非常勤講師
237	「環境省レッドデータブック2014」の絶滅危惧Ⅱ類モリアブラコウモリは多摩川流域にいつ、どこに棲んでいるのか？	重昆 達也	東京コウモリ研究会 代表

No.	研究課題	代表研究者	所属・役職
238	リネン布を使用した多摩川全域にわたる定点観測地点における流水内の放射性核種の量の調査内の放射性核種の量の調査	清宮 祥子	特定非営利活動法人R. I. L a
239	多摩川流域（東京都域）における絶滅危惧種ハヤブサの生態に関する調査研究	御手洗 望	多摩クマタカ生態調査チーム
240	多摩川の主に漁撈、漁具、漁法に関する古文献、写真等のデジタル化に関する調査調査	山道 省三	NPO法人多摩川センター

（公2）活動支援事業の状況

①とうきゅう環境財団 社会貢献学術賞の贈呈

本事業は、当財団創立35周年を記念して制定したもので、わが国の環境分野において、学術的、社会的に特に顕著な業績を挙げた研究者を表彰するものであります。

第10回となる当年度は、下記のとおり表彰いたしました。

ア) 受賞者 高橋 裕氏

(東京大学名誉教授・日仏工業技術会名誉会長)

イ) 贈呈額 100万円

ウ) 表彰理由

高橋氏は、戦後わが国で生じた多くの洪水について現地調査と綿密なデータ解析を行い、明治以来の堤防による河川改修や開発に伴う流域の変貌によって洪水規模が増大したことを学術的に明らかにし、流域とのかかわりにおいて治水政策を進めるべきことを著書「国土の変貌と水害」において提唱されました。この概念に基づいて総合治水の施策が全国へと展開され、水害軽減に多大な効果をもたらしました。また、その理念は現在、「河川法」「水資源基本法」など、さまざまな法制度として活かされておりあります。

（公3）啓発普及事業の状況

①財団だより「多摩川」の作成配布

多摩川の水質浄化のみならず、多摩川への関心の高揚と「多摩川文化」の醸成に資するため、財団だより「多摩川」を発行し、流域の団体等に配布しております。また、同内容を当財団の公式ウェブサイト上にも掲載しております。

当年度の発行状況は、下記のとおりであります。

2018年 6月 (第154号)

2018年 9月 (第155号)

2018年12月 (第156号)

2019年 3月 (第157号)

②環境学習副読本の普及促進

財団創立20周年を記念して、副読本「多摩川ジュニア・ガイドー多摩川へいこう」の配布を1994年から開始しております。当年度は、下記のとおり配布いたしました。

配布冊数 6, 865部 (累計 309, 229部)

配布先 小学校49校 ほか

2. 会議体の開催状況

(1) 理事会および評議員会

下記のとおり開催され各議案について審議した結果、全員一致で原案どおり可決されました（ただし、「みなし決議」と記載のあるものは、会議体に出席すべき者全員から、書面により、開催を省略する旨および議案の内容に関する同意を得ましたので、定款の規定に基づき、会議を開催することなく可決されております）。

開催年月日	回数・名称	出席者	議案
2018/5/29	第22回理事会	理事9名 (12名中)、 監事1名	1. 2017年度事業報告について 2. 2017年度決算について 3. 第17回評議員会招集について
2018/6/12 (みなし決議)	第23回理事会	理事12名 (12名中)	第17回評議員会招集について（議案内容の一部変更）
2018/6/13	第17回評議員会	評議員6名 (10名中)、 監事1名 鈴木理事長 小野木 常務理事	1. 2017年度事業報告について 2. 2017年度決算について 3. 評議員の選任について
2018/11/14	第24回理事会	理事8名 (12名中) 監事1名	1. 吸収合併契約書締結について（※） 2. 公益認定事業変更について 3. 評議員会決議事項に関する理事提案書送付について
2018/11/29 (みなし決議)	第18回評議員会	評議員10名 (10名中)	1. 吸収合併契約書承認について 2. 定款一部変更について 3. 評議員の選任について 4. 理事の選任について 5. 監事の選任について
2019/3/18 (みなし決議)	第25回理事会	理事12名 (12名中)	1. 2019年度事業計画について 2. 2019年度収支計画について 3. 第19回評議員会議案について
2019/3/26 (みなし決議)	第19回評議員会	評議員10名	1. 2019年度事業計画について 2. 2019年度収支計画について

※第24回理事会の第1号議案は、理事長・鈴木克久が、合併相手となる五島記念文化財団の理事長を兼ねていたため、決議に加わっておりません。

(2) 常任理事会

鈴木理事長および小野木常務理事の出席のもと、下記のとおり開催されました。

開催年月日	回数	主 な 議 題
2018/4/13	第70回	2017年度決算について 「第10回とうきゅう環境財団社会貢献学術賞」の推薦依頼について
2018/5/10	第71回	第22回理事会の議案内容について
2018/6/18	第72回	財団だより「多摩川」第154号発行について
2018/9/7	第73回	財団だより「多摩川」第155号発行について 2019年度 研究助成申請公募の開始について 第10回社会貢献学術賞について
2018/10/23	第74回	第10回社会貢献学術賞（選考結果および贈呈式等）について 臨時理事会および臨時評議員会（知事・議題等）について 財団統合準備の進捗状況について
2019/1/18	第75回	財団だより「多摩川」第156号発行について 2019年度研究費用助成申請の状況について 2018年度実績見込および2019年度予算（案）について 財団統合準備の進捗状況について

(3) 選考委員会

当年度は、下記のとおり開催されました。

① 第10回とうきゅう環境財団 社会貢献学術賞選考委員会

2018年9月28日、選考委員7名が出席し開催され、下記のとおり採択されました。

高橋 裕氏

(東京大学名誉教授・日仏工業技術会名誉会長)

② 第61回定時選考委員会

2019年3月7日、選考委員8名が出席し開催され、2019年度調査・試験研究費助成に関し、下記のとおり採択されました。

1 新規 学術研究					
No.	研 究 課 題	代 表 研究者	所 属 ・ 役 職 (採 択 当 時)	研 究 期 間	当 年 度 助 成 金 額 (円)
1	多摩川流域における水中微細マイクロプラスチック存在調査とシミュレーションモデルを用いた流域内挙動解析	亀田 豊	千葉工業大学 創造工学部 准教授	2年	1,000,000
2	巨大都市を流れる多摩川流域で薬剤耐性遺伝子を伝播しうるプラスミドの同定とその伝播経路の解明	新谷政己	静岡大学 工学部 准教授	2年	1,000,000

No.	研 究 課 題	代 表 研究者	所 属・役 職 (採 択 当 時)	研 究 期 間	当 年 度 助 成 金 額 (円)
3	多摩川の流域周辺に生息するワカケホンセイインコ(<i>Psittacula krameri manillensis</i>)など、野生化した飼鳥から人に感染する病原体の調査	佐々悠木子	東京農工大学農学研究科動物生命科学部門 講師	2年	1,000,000
4	多摩川における薬剤耐性遺伝子の動態に及ぼす下水処理水の影響評価	春日郁朗	東京大学 大学院工学系研究科都市工学専攻 准教授	2年	1,000,000
5	多摩川流域のドジョウ類の分布と生息環境, 及びヒガシマドジョウの河川内での季節移動と環境利用	吉川朋子	玉川大学 農学部 生産農学科 教授	2年	1,000,000
6	多摩川中流域の湧水水路網における景観構造の解明と保全・活用方策の提案	矢澤優理子	千葉大学大学院園芸学研究科環境園芸学専攻 緑地環境学コース風景計画学研究室・博士後期課程1年	1年	455,000
7	多摩川上流域に侵入した大型珪藻外来種の生息状況とその対策に関する研究	田中正明	四日市大学生物学研究所 所長	2年	1,000,000
8	多摩川水系におけるセミの抜け殻を利用した土壌中元素分布の広域調査	大貫敏彦	東京工業大学 科学技術創成研究院 教授	2年	1,000,000
9	多摩川底質の亜酸化窒素消費ポテンシャルの体系的評価: 排水処理施設からの放流水の影響	寺田昭彦	東京農工大学 大学院工学研究院 教授	2年	1,000,000
10	水の循環と子どもの遊びからみる自然と社会とのつながりとその価値について —多摩川流域の自然環境保全に向けた流域連携の可能性に向けて	土肥真人	一般財団法人エコロジカル・デモクラシー財団 代表理事	2年	872,000
11	多摩川におけるマイクロプラスチック汚染状況と魚類への影響	二瓶泰雄	東京理科大学 理工学部土木工学科 教授	2年	1,000,000
12	多摩川の遺伝資源: 固有の魚類個体群とその生態	吉永龍起	北里大学 海洋生命科学部 准教授	2年	1,000,000
合 計 (12件) / 応募 34件 (採択率35%)					11,327,000
2 新規 一般研究					
No.	研 究 課 題	代 表 研究者	所 属・役 職 (採 択 当 時)	研 究 期 間	当 年 度 助 成 金 額 (円)
1	多摩川中流域における魚類(オイカワ)をマーカーとしたマイクロプラスチック汚染調査	伊藤教行	特定非営利活動法人 R.I.La 主任研究員 理事	1年	500,000

No.	研 究 課 題	代 表 研究者	所 属・役 職 (採 択 当 時)	研 究 期 間	当 年 度 助 成 金 額 (円)
2	玉川上水・本水路護岸に作られる「分水口空間」の環境調査——江戸時代に作られた「分水口空間」の知恵をさぐる——	渡部一二	水縁空間デザイン研究所 所長	1年	500,000
3	多摩川鳥類カウント再現	蓮尾純子	多摩川鳥類カウントグループ 会長	2年	674,000
4	プラスチック製産卵誘致容器の活用によるトンボ類の保護・増殖	久保田繁男	特定非営利活動法人横沢入里山管理市民協議会 理事長	2年	500,000
5	玉川上水・分水網関連遺構 100 選の評価と冊子・展示資料等の作成	辻野五郎丸	中央大学理工学部都市環境学科谷下研究室 共同研究員 玉川上水域研究会代表	1年	500,000
6	多摩川流域におけるフクロウの生息状況確認調査	板谷浩男	多摩川流域のフクロウ調査研究グループ	1年	500,000
合 計 (6件) / 応募 16件 (採択率 38%)					3,174,000
新 規 研 究 合 計 (18件) / 応募 50件 (採択率 36%)					14,501,000
3 継続 学術研究					
No.	研 究 課 題	代 表 研究者	所 属・役 職 (採 択 当 時)	研 究 期 間	当 年 度 助 成 金 額 (円)
1	多摩川における感染力を有した腸管系ウイルスの動態解明	端 昭彦	東京大学大学院 工学系研究科 都市工学専攻 特任助教	2年	790,000
2	多摩川河口域における水生菌類の多様性と有機物分解機能の評価	鏡味麻衣子	横浜国立大学大学院 環境情報研究院 教授	2年	1,700,000
3	多摩川水系におけるニホンウナギの保全のための資源生態調査	黒木真理	東京大学大学院農学生命科学研究科 助教	2年	1,700,000
4	多摩川水系における天然及び人工放射性物質の環境総合評価	岡田往子	東京都市大学工学部 原子力研究所 准教授	2年	1,700,000
5	多摩川の微生物生態系モデル構築による下水処理水の影響や季節変動の解析	山村雅幸	東京工業大学情報理工学院 教授	2年	1,324,800
6	多摩川源流域における「耕作跡地の二次草原」の生物多様性とその時空間動態	今井伸夫	東京農業大学 地域環境科学部 森林総合科学科 森林生態学研究室 准教授	2年	1,661,900

No.	研 究 課 題	代表 研究者	所属・役職 (採択当時)	研究 期間	当年度 助成金額 (円)
7	多摩川流域のアブラナ科アブラナ属 の地域在来野菜における遺伝的由来 と品種および栽培特性に関わる研究	元木 悟	明治大学農学部 農 学科・野菜園芸学研 究室 准教授	2年	1,224,000
8	多摩川流域の観光発展と環境教育の 役割について -人々の観光に関わ る行動分析と観光政策-	高尾美鈴	中央大学大学院 経 済学研究科 (博士後 期課程1年)	2年	913,000
合 計 (8件) / 全件採択					11,013,700
継続 一般研究					
No.	研 究 課 題	代表 研究者	所属・役職 (採択当時)	研究 期間	当年度 助成金額 (円)
1	多摩川における日本在来河原植物の 分布調査	柴田隆行	多摩川の自然を 守る会 (代表)	2年	163,000
2	御岳山山城 蘚苔類フロラ調査 -御岳山の苔の魅力を発掘し、大切 な資源として後世に遺すために-	井口三月	御 岳 山 苔 の 会 (代表)	2年	82,680
合 計 (2件) / 全件採択					245,680
継続研究合計 (10件) / 全件採択					11,259,380
総 合 計 (28件) / 応募60件 (採択率47%)					25,760,380

2018年度決算

1.貸借対照表

2019年3月31日現在

公益財団法人 とうきゅう環境財団

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	16,365,693	23,996,459	△ 7,630,766
現金	41,365	28,002	13,363
普通預金	16,324,328	23,968,457	△ 7,644,129
未収利息	1,571,500	1,571,500	0
流動資産合計	17,937,193	25,567,959	△ 7,630,766
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
(基本財産) 普通預金	5,828,957	5,828,957	0
投資有価証券	970,361,694	970,224,419	137,275
基本財産合計	976,190,651	976,053,376	137,275
(2) 特定資産			
研究助成金基金資産	55,000,000	55,000,000	0
特定資産合計	55,000,000	55,000,000	0
(3) その他固定資産			
工具器具備品	568,437	682,125	△ 113,688
敷金	1,726,590	1,726,590	0
長期前払費用	594,000	0	594,000
その他固定資産合計	2,889,027	2,408,715	480,312
固定資産合計	1,034,079,678	1,033,462,091	617,587
資産合計	1,052,016,871	1,059,030,050	△ 7,013,179
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	9,504,000	13,608	9,490,392
流動負債合計	9,504,000	13,608	9,490,392
負債合計	9,504,000	13,608	9,490,392
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	15,000,000	15,000,000	0
(うち特定資産への充当額)	(15,000,000)	(15,000,000)	(0)
2. 一般正味財産			
(うち基本財産への充当額)	1,027,512,871	1,044,016,442	△ 16,503,571
(うち特定資産への充当額)	(976,190,651)	(976,053,376)	(137,275)
(うち特定資産への充当額)	(40,000,000)	(40,000,000)	(0)
正味財産合計	1,042,512,871	1,059,016,442	△ 16,503,571
負債及び正味財産合計	1,052,016,871	1,059,030,050	△ 7,013,179

2.正味財産増減計算書

2018年4月1日から2019年3月31日まで

公益財団法人 ときゅう環境財団

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	11,807,475	11,949,491	△ 142,016
基本財産受取利息	11,807,475	11,949,491	△ 142,016
特定資産運用益	294,800	322,350	△ 27,550
特定資産受取利息	294,800	322,350	△ 27,550
受取寄付金	57,426,000	52,468,000	4,958,000
受取寄付金	57,426,000	52,468,000	4,958,000
雑収益	43,749	734	43,015
受取利息	659	734	△ 75
雑収益	43,090	0	43,090
経常収益計	69,572,024	64,740,575	4,831,449
(2) 経常費用			
事業費	66,813,554	50,492,920	16,320,634
(公1) 研究助成事業	45,015,766	41,653,281	3,362,485
助成金	25,573,355	21,774,596	3,798,759
委員報酬	3,541,588	3,541,588	0
給与手当	9,389,928	11,247,184	△ 1,857,256
助成金贈呈式	776,417	518,734	257,683
印刷・広告費	1,565,227	971,113	594,114
賃借料・共益費	2,768,837	2,767,219	1,618
その他経費	1,343,570	770,248	573,322
減価償却費	56,844	62,599	△ 5,755
(公2) 活動支援事業	4,332,527	4,738,150	△ 405,623
社会貢献学術賞贈呈式費	1,044,163	1,076,476	△ 32,313
多摩川環境情報調査費	500,000	500,000	0
社会貢献学術賞費	1,061,020	1,038,988	22,032
給与手当	964,258	1,358,280	△ 394,022
印刷・広告費	230,098	128,529	101,569
その他経費	532,988	635,877	△ 102,889
(公3) 啓発普及事業	17,465,261	4,101,489	13,363,772
財団だより編集費	668,041	144,570	523,471
環境学習副読本普及促進費	10,888,560	1,046,520	9,842,040
給与手当	3,877,540	1,174,845	2,702,695
通信運搬費	628,773	728,405	△ 99,632
印刷・広告費	1,132,197	747,989	384,208
その他経費	270,150	259,160	10,990
管理費	19,262,041	17,476,590	1,785,451
給料手当	11,150,171	11,100,163	50,008
退職給付費用	186,105	180,685	5,420
会議費	576,346	206,365	369,981
旅費交通費・通信費運搬費	976,550	541,878	434,672
機器リース料	289,697	228,293	61,404
消耗品費	581,105	551,129	29,976
諸会費	210,160	222,080	△ 11,920
賃借料・共益費	2,768,837	2,767,219	1,618
諸謝金	1,669,407	706,392	963,015
その他経費	796,819	909,787	△ 112,968
減価償却費	56,844	62,599	△ 5,755
経常費用計	86,075,595	67,969,510	18,106,085
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 16,503,571	△ 3,228,935	△ 13,274,636
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△ 16,503,571	△ 3,228,935	△ 13,274,636
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 16,503,571	△ 3,228,935	△ 13,274,636
一般正味財産期首残高	1,044,016,442	1,047,245,377	△ 3,228,935
一般正味財産期末残高	1,027,512,871	1,044,016,442	△ 16,503,571
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	15,000,000	15,000,000	0
指定正味財産期末残高	15,000,000	15,000,000	0
III 正味財産期末残高	1,042,512,871	1,059,016,442	△ 16,503,571

2-2.正味財産増減計算書内訳表

2018年4月1日から2019年3月31日まで

公益財団法人 とうきゅう環境財団

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計					法人会計	合計
	調査・試験研究助成事業	活動支援・助成事業	啓発普及事業	共通	小計		
I 一般正味財産増減の部							
1. 経常増減の部							
(1) 経常収益							
基本財産運用益	11,807,475	0	0	0	11,807,475	0	11,807,475
基本財産受取利息	11,807,475	0	0	0	11,807,475	0	11,807,475
特定資産運用益	294,800	0	0	0	294,800	0	294,800
特定資産受取利息	294,800	0	0	0	294,800	0	294,800
受取寄付金	32,913,285	4,332,527	17,465,261	0	54,711,073	2,714,927	57,426,000
受取寄付金	32,913,285	4,332,527	17,465,261	0	54,711,073	2,714,927	57,426,000
雑収益	206	0	0	0	206	43,543	43,749
受取利息	206	0	0	0	206	453	659
雑収益	0	0	0	0	0	43,090	43,090
経常収益計	45,015,766	4,332,527	17,465,261	0	66,813,554	2,758,470	69,572,024
(2) 経常費用							
事業費	45,015,766	4,332,527	17,465,261	0	66,813,554	0	66,813,554
(公1) 研究助成事業	45,015,766	0	0	0	45,015,766	0	45,015,766
助成金	25,573,355	0	0	0	25,573,355	0	25,573,355
委員報酬	3,541,588	0	0	0	3,541,588	0	3,541,588
給与手当	9,389,928	0	0	0	9,389,928	0	9,389,928
助成金贈呈式	776,417	0	0	0	776,417	0	776,417
印刷・広告費	1,565,227	0	0	0	1,565,227	0	1,565,227
賃借料・共益費	2,768,837	0	0	0	2,768,837	0	2,768,837
その他経費	1,343,570	0	0	0	1,343,570	0	1,343,570
減価償却費	56,844	0	0	0	56,844	0	56,844
(公2) 活動支援事業	0	4,332,527	0	0	4,332,527	0	4,332,527
社会貢献学術賞贈呈式費	0	1,044,163	0	0	1,044,163	0	1,044,163
多摩川環境情報調査費	0	500,000	0	0	500,000	0	500,000
社会貢献学術賞費	0	1,061,020	0	0	1,061,020	0	1,061,020
給与手当	0	964,258	0	0	964,258	0	964,258
印刷・広告費	0	230,098	0	0	230,098	0	230,098
その他経費	0	532,988	0	0	532,988	0	532,988
(公3) 啓発普及事業	0	0	17,465,261	0	17,465,261	0	17,465,261
財団だより編集費	0	0	668,041	0	668,041	0	668,041
環境学習副読本普及促進費	0	0	10,888,560	0	10,888,560	0	10,888,560
給与手当	0	0	3,877,540	0	3,877,540	0	3,877,540
通信運搬費	0	0	628,773	0	628,773	0	628,773
印刷・広告費	0	0	1,132,197	0	1,132,197	0	1,132,197
その他経費	0	0	270,150	0	270,150	0	270,150
管理費	0	0	0	0	0	19,262,041	19,262,041
給料手当	0	0	0	0	0	11,150,171	11,150,171
退職給付費用	0	0	0	0	0	186,105	186,105
会議費	0	0	0	0	0	576,346	576,346
旅費交通費・通信費運搬費	0	0	0	0	0	976,550	976,550
機器リース料	0	0	0	0	0	289,697	289,697
消耗品費	0	0	0	0	0	581,105	581,105
諸会費	0	0	0	0	0	210,160	210,160
賃借料・共益費	0	0	0	0	0	2,768,837	2,768,837
諸謝金	0	0	0	0	0	1,669,407	1,669,407
その他経費	0	0	0	0	0	796,819	796,819
減価償却費	0	0	0	0	0	56,844	56,844
経常費用計	45,015,766	4,332,527	17,465,261	0	66,813,554	19,262,041	86,075,595
評価損益等調整前当期経常増減額	0	0	0	0	0	△ 16,503,571	△ 16,503,571
評価損益等計	0	0	0	0	0	0	0
当期経常増減額	0	0	0	0	0	△ 16,503,571	△ 16,503,571
2. 経常外増減の部							
(1) 経常外収益							
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用							
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0
他会計振替前当期一般正味財産増減額	0	0	0	0	0	△ 16,503,571	△ 16,503,571
他会計振替額	0	0	0	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	△ 16,503,571
一般正味財産期首残高							1,044,016,442
一般正味財産期末残高							1,027,512,871
II 指定正味財産増減の部							
当期指定正味財産増減額							0
指定正味財産期首残高							15,000,000
指定正味財産期末残高							15,000,000
III 正味財産期末残高							1,042,512,871

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的の債券は償却原価法（定額法）を採用している。

(2) 固定資産の減価償却の方法

定率法による減価償却を実施している。

(3) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は税込方式によっている。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
普通預金	5,828,957	0	0	5,828,957
投資有価証券	970,224,419	137,275	0	970,361,694
小 計	976,053,376	137,275	0	976,190,651
特定資産				
普通預金	15,000,000	0	0	15,000,000
投資有価証券	40,000,000	0	0	40,000,000
小 計	55,000,000	0	0	55,000,000
合 計	1,031,053,376	137,275	0	1,031,190,651

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財 産からの充当額)	(うち一般正味 財産からの充当 額)	(うち負債に対 応する額)
基本財産				
普通預金	5,828,957	0	(5,828,957)	0
投資有価証券	970,361,694	0	(970,361,694)	0
小 計	976,190,651	0	(976,190,651)	0
特定資産				
普通預金	15,000,000	(15,000,000)		
投資有価証券	40,000,000	0	(40,000,000)	0
小 計	55,000,000	(15,000,000)	(40,000,000)	0
合 計	1,031,190,651	(15,000,000)	(1,016,190,651)	0

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取 得 価 額	減価償却累計額	当 期 末 残 高
工具器具備品	1,467,060	898,623	568,437
合 計	1,467,060	898,623	568,437

5. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価格、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価格、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(単位：円)

種 類 及 び 銘 柄	帳簿価格	時 価	評価損益
第74回東京急行電鉄債	100,000,000	112,703,100	12,703,100
第24回東日本旅客鉄道債	99,133,902	105,853,000	6,719,098
第133回福岡北九州高速道路債	100,000,000	109,020,400	9,020,400
第59回超長期国債(20年)	100,000,000	107,150,000	7,150,000
第155回利付国債(20年)	9,970,906	11,285,000	1,314,094
第67回伊藤忠商事社債	100,193,126	102,870,000	2,676,874
第89回都市再生債	100,000,000	109,740,000	9,740,000
第381回大阪府公募公債	100,000,000	103,197,600	3,197,600
第20回兵庫県公募公債	100,000,000	117,740,000	17,740,000
第304回日本高速道路債	101,063,760	106,790,100	5,726,340
第52回日本電気社債	100,000,000	100,570,000	570,000
合 計	1,010,361,694	1,086,919,200	76,557,506

附属明細書

「基本財産及び特定資産の明細」については、財務諸表の注記に記載している。

3.財産目録

2019年3月31日現在

公益財団法人 とうきゅう環境財団

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額	
1.流動資産					
	現金	手元保管	運転資金として	41,365	
	預金	普通預金 (三菱UFJ銀行 渋谷支店)	運転資金として	16,324,328	
	未収利息	投資有価証券	公益目的保有財産の期中未収利息	16,324,328	
流動資産合計				1,571,500	
				17,937,193	
2.固定資産					
(1) 基本財産					
	預金	普通預金 (三菱UFJ銀行 渋谷支店)	公益目的保有財産であり、運用益を (公1)研究助成事業の財源として使用している	5,828,957	
	投資有価証券	第74回東京急行電鉄社債 1件 額面 100,000,000円	" "	100,000,000	
		第24回東日本旅客鉄道社債 1件 額面 100,000,000円	" "	99,133,902	
		第133回福岡北九州高速道路債 1件 額面 100,000,000円	" "	100,000,000	
		第59回超長期国債(20年) 1件 額面 100,000,000円	" "	100,000,000	
		第67回伊藤忠商事社債 1件 額面 100,000,000円	" "	100,193,126	
		第89回都市再生債 1件 額面 100,000,000円	" "	100,000,000	
		第381回大阪府公募公債 1件 額面 100,000,000円	" "	100,000,000	
		第20回兵庫県公募公債 1件 額面 100,000,000円	" "	100,000,000	
		第155回20年利付国債 1件 額面 10,000,000円	" "	9,970,906	
		第304回日本高速道路債 1件 額面 60,000,000円	" "	61,063,760	
		第52回日本電気社債 1件 額面 100,000,000円	" "	100,000,000	
		投資有価証券 合計			970,361,694
		基本財産 合計			976,190,651
		(2) 特定資産			
	研究助成金基金	普通預金 (三菱UFJ銀行 渋谷支店)	公益目的保有財産であり、運用益を (公1)研究助成事業の財源として使用している	15,000,000	
		第304回日本高速道路債 1件 額面 40,000,000円	" "	40,000,000	
特定資産 合計				55,000,000	
(3) 固定資産					
	工具器具備品	事務所内備品等	事務所内にて公益目的事業及び管理 運営業務に使用している	568,437	
	敷金	事務所	" "	1,726,590	
	長期前払費用		新ロゴ制作費用	594,000	
	固定資産 合計			2,889,027	
固定資産合計				1,034,079,678	
資産合計				1,052,016,871	
3. 流動負債					
	未払金		副読本企画 編集・管理費用 (株)学研ブ ラス	9,504,000	
流動負債合計				9,504,000	
負債合計				9,504,000	
正味財産				1,042,512,871	